

科目名	成人・老年看護方法Ⅴ (看護過程) Adult and Gediatric Nursing Ⅴ		担当教員 (研究室番号)	清水律子 (506) 長谷川智之 (302) 関根由紀 (504) 田端真 (308) 岡根利津 (308) 山本奈津美 (308)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	3年次 前期	科目 区分	専門科目・生涯看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	成人および老年看護学における既習の知識を活用し、病期およびライフサイクルを考慮した看護過程を展開し、対象に応じた必要な思考過程を学ぶ。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)										
	関連する DP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
到達 目標	1. 看護の対象となる患者や家族の情報を収集し、アセスメントから看護計画の立案までを自己学習およびグループディスカッションを基に記述することができる。 2. 看護の対象となる患者や家族のかかわる看護診断や期待される成果を明確にできる。 3. 立案した看護計画の実施について経過記録を記載することができる。 4. 周術期にある患者や家族の看護過程の特徴を説明することができる。 5. 看護の対象となる患者や家族にかかわる目標志向型思考を用いた看護の焦点やストレングスを活用した援助方法を記述することができる。 6. 自己学習を基にグループディスカッションおよび演習に積極的に参加できる。											
成績評価方法 (基準)	看護過程 (50%)、事前課題 (45%)、他者評価 (5%)											
再試験の有無と 基準等	本科目の評価は、看護過程に関する課題と課題進捗状況で行うため、再試験を行わない。											
教科書	NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版											
参考書等	・看護がみえる vol.4 看護過程の展開、医療情報科学研究所編集、出版社：メディックメディア ・看護診断の看護過程ガイドーゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメント、上野栄一、西田直子編集、出版社：中央法規出版											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	本科目は、グループディスカッションを通して、成人期から老年期にある患者や家族を対象として、各病期における看護過程を展開することが中心となります。主体性と論理的思考を基盤に、様々な対象に応じた必要な思考過程を確実に身に付けてください。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	看護過程とは				ゴードンの機能的健康パターンを用いた看護過程展開の方法について学ぶ。また、ゴードンの機能健康パターンに基づく情報の整理について学ぶ。				清水 他	講義		
2回	看護過程の展開① 情報の整理・アセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (アセスメント) データ分析 (健康知覚・健康管理パターン) について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。				清水 他	演習		
3回	看護過程の展開② 情報の整理・アセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (アセスメント) データ分析 (栄養・代謝パターン) について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。				清水 他	演習		
4回	看護過程の展開③ 情報の整理・アセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (アセスメント) データ分析 (排泄、活動・運動パターン) について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。				清水 他	演習		
5回	看護過程の展開④ 情報の整理・アセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (アセスメント) データ分析 (睡眠・休息、認知・知覚パターン) について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。				清水 他	演習		
6回	看護過程の展開⑤ 情報の整理・アセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (アセスメント) データ分析 (自己知覚・自己概念、役割・関係) について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。				清水 他	演習		
7回	看護過程の展開⑥ 情報の整理・アセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (アセスメント) データ分析 (セクシュアリティ・生殖パターン、コーピング・ストレス耐性、価値・信念パターン) について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。				清水 他	演習		
8回	看護過程の展開⑦ 看護診断				事例に基づく看護過程の展開 (看護診断) 看護診断について学ぶ。				関根 他	講義		

9回	看護過程の展開⑧ 関連図	事例に基づく看護過程の展開（関連図） 関連図について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。	清水 他	演習
10回	看護過程の展開⑨ 看護診断・優先順位	事例に基づく看護過程の展開（看護診断・優先順位） 看護診断、優先順位について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。	岡根 他	演習
11回	看護過程の展開⑩ 看護計画	事例に基づく看護過程の展開（看護計画） 看護計画について、個人ワークを基にして、グループディスカッションを行う。	清水 他	演習
12回	看護過程の展開⑪ 経過記録	事例に基づく看護過程の展開（経過記録） 経過記録の記載方法について学ぶ。 立案した看護計画を実施し、経過記録を記載する。	清水 他	演習
13回	看護過程の展開⑫ 周術期における看護過程	周術期にある患者や家族の情報の分類・アセスメントの特徴と、術後の患者に必要な看護問題について学ぶ。	岡根 他	講義
14回	看護過程の展開⑬ 目標志向型思考とストレングスモデルを用いた看護過程	老年期にある患者の加齢や健康障害が生活に及ぼす影響についてグループディスカッションを行う。また、目標志向型思考やストレングスモデルを用いた援助についてもグループディスカッションを行う。	清水 他	演習
15回	看護過程の展開⑭ 全体のまとめ	看護過程の展開を振り返り、看護の対象となる患者や家族への看護を理解する。 看護サマリーの記載方法について学ぶ。	清水 他	演習

学 習 課 題	
1回目課題（事後）：	ゴードンの機能健康パターンについて復習する。
2回目課題（事前）：	指定された記録用紙の、健康管理・健康知覚パターンに必要な「情報」「アセスメント」を記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
3回目課題（事前）：	指定された記録用紙の、栄養・代謝パターンに必要な「情報」「アセスメント」を記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
4回目課題（事前）：	指定された記録用紙の、排泄パターンおよび活動・運動パターンに必要な「情報」「アセスメント」を記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
5回目課題（事前）：	指定された記録用紙の、睡眠・休息パターンおよび認知・知覚パターンに必要な「情報」「アセスメント」を記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
6回目課題（事前）：	指定された記録用紙の、自己知覚・自己概念パターンおよび役割・関係パターンに必要な「情報」「アセスメント」を記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
7回目課題（事前）：	指定された記録用紙の、セクシュアリティ・生殖パターン、コーピング・ストレス耐性、価値・信念パターンに必要な「情報」「アセスメント」を記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
8回目課題（事後）：	事例患者に適した仮の看護診断を記述する。期日までに指定された記録用紙を提出する。
9・10回目課題（事前）：	指定された記録用紙の関連図を作成する。また、看護診断を確定し、看護診断の優先順位について記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
11回目課題（事前）：	指定された記録用紙に看護計画を立案する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。【評価対象】
12回目課題（事前）：	立案した看護計画の援助方法について具体的に記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。 （事後）：実施した看護についての経過記録を記載する。
13回目課題（事前）：	指定された記録用紙に、成人・老年看護方法Ⅰの指定教科書および作成したグループワーク資料を参考に、周術期の患者の「情報」「アセスメント」を記述する。
14回目課題（事後）：	目標志向型思考での看護の焦点について記述する。 期日までに指定された記録用紙を提出する。
15回目課題（事後）：	事例患者の看護過程をファイルにまとめレポート課題として期日までに提出する。【評価対象】

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。また、看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本科目の講義と演習を行う。